

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[手順](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ラボ環境でサブレート トランクを起動する方法について説明します。

サブレートトランクの標準インストールでは、トランククロッキングは Telco によって提供されます。サブレートトランクをラボ環境で使用するために、インターフェイスでクロックを提供して下さい。

サブレートトランク (かパケット ライン) 2 つの IPX ノードまたは IGX ノード間の通信リンク、または両方です。sub は T1 または E1 比率より小さい比率を示します。サブレートトランクはフラクショナル T1/E1 パケット ラインにそれらが異なる行同期機構を使用するので話すことができません。これはそれらが 1 日の上に同期できないことを意味します。

物理インターフェイスは V.11/X.21、V.35、または RS-449 インターフェイスのどちらである場合もあります。

前提条件

要件

要件はラボ環境の実世界コンフィギュレーションをエミュレートすることです。

サブレートトランクは各インターフェイスでクロックを提供されます必要とします。さらに、TX および RX データ 信号はトランクカードの間で交差させる必要があります。このクロスオーバーはクロス ケーブルか Telco サブレート インターフェイスをエミュレートするデバイスを使用して堪能である場合もあります。クロス オーバー ケーブルによって、クロックはインターフェイスにサブレートトランク カードがデータ端末装置 (DTE) インターフェイス提供するである必要があり、クロックを供給しませんので。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

手順

サブレートトランクのデータ レートは IPX/IGX によってサポートされる値である必要があります。サポートされているレートは次のとおりです:

- 64 Kbps
- 128 kbps
- 256 kbps
- 384 Kbps
- 512 kbps
- 768 kbps
- 1.024 Mbps
- 1.536 Mbps
- 1.920 Mbps

次の手順を実行します。

1. サブレートトランク カードと一致する V.35 または RS-449 インターフェイスを使用して単一 SDP (または HDM) の 2 つの DCE ポート間のローカル接続を追加して下さい。接続は両方のポートの DCE インターフェイスで設定されます。接続のデータ レートはトランクの比率を一致する必要があります。
2. 1 つの SDP/HDM ポートからサブレートトランク コネクタの 1 にストレート ケーブルを接続して下さい。
3. 他の SDP/HDM ポートから他のサブレートトランク コネクタに別のストレート型 V.35 か RS-449 ケーブルを接続して下さい。
4. SDP/HDM ローカル接続の比率のためのサブレート PLN/Trunk を設定して下さい。
5. サブレート PLN/Trunk を追加して下さい。

サブレートトランクは Telco として SDP/HDM カードを使用します。SDP/HDM カードは送信するおよびレシーブ データ ストリームを交差させるためにクロッキングおよびメカニズムを提供します。

関連情報

- [WAN スイッチング製品のための新しい名前とカラーのガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)